

血液がん

～より良い治療とより良い治療～



日時 2013年11月16日(土) 13時～17時

会場 TKP大阪本町ビジネスセンター(詳細地図裏面)

資料代 1人
1,000円

共催 NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター

後援 公益財団法人 日本骨髄バンク

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群…など、病気本体や治療法が複雑でわかりにくくまた治療期間が長いのが血液がんですが、ぜひ基本から学んで理解を深めましょう。また「同じ血液がんでも自分とは病名のちがう疾病」と「自分では受けないかも知れない治療法」についても機会があれば聴いてください。ほかの病名やいろいろな治療法の概略を理解することも、自身の病気を深く知る上で、さらにより良い治療選択をする上でとてもよい参考になります。

第2部ではそれぞれの疾患のグループにわかれ、専門医を交えてご自身の病気治療の進歩を共有し、同じ疾患の方々と交流します。さらに、寄せられた質問へのアドバイスを皆で共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。第3部では、看護や心療内科の面から暮らし(生活感覚)に密接なアドバイスを受けて、より良い治療とより良い闘病生活を目指しましょう。

講演を聴いて質問が湧けば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出し、疑問「解決の1日」としてください。

座長 大阪成人病センター 血液・化学療法科 石川 淳先生 総合司会 NPO 法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

I 全体会の(1) 血液がんについて基礎知識をもと 13:00～14:00

血液と血液がんの病態

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、など、造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことを知ることで自身の疾患の理解を深めます。また、標準治療の「標準」やとても気になる言葉「治療に参加」、「エビデンスに基づいた医療」などの意味について聴きます。

大阪府立成人病センター 石川 淳先生

血液がんの治療

血液がんの治療には化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法、放射線治療、免疫療法、そして支持療法などがあります。主にここでは化学療法、移植、分子標的療法について焦点をあて、それぞれの治療の特徴と使い分け、最新の臨床データ、移植が必要な場合のタイミングなどについて学びます。

大阪大学医学部附属病院 化学療法部 血液・腫瘍内科 水木 満佐央先生

II 疾患別Q&A分科会 —各分科会同時進行— 14:00～15:30

各疾患の特徴と治療法の特性・進歩についてご説明(20分間)いただき、個々の疾患について質疑応答(30分)を行ないます。分科会参加者全員と講師とが一体となってさまざまな疑問について会話し考えましょう。進行役は各疾患グループの方です。

○急性白血病	大阪府立成人病センター 血液・化学療法科	吉田 均先生
○慢性骨髄性白血病	大阪府立成人病センター 血液・化学療法科	石川 淳先生
○骨髄異形成症候群	神戸市立中央市民病院 血液内科	石川 隆之先生
○悪性リンパ腫(ATL/L, CLLを含めて)	関西医科大学附属枚方病院 血液腫瘍内科	伊藤 量基先生
○多発性骨髄腫	大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	柴山 浩彦先生
○骨髄増殖性疾患(多血症、血小板増多症、骨髄線維症)	近畿大学医学部附属病院 血液・膠原病内科	松村 到先生

III 全体会の(2) より良く暮らしながら闘病するために 15:30～17:00

暮らしと血液がん治療

・造血幹細胞移植時の口腔内ケア

近年は、患者さんの口腔内がほんとうに綺麗なまま骨髄移植治療が進みます。口腔内ケアが向上したことも移植成績向上に寄与しているとも言われているほど。その対処法は誰にとって参考になります。

近畿大学医学部附属病院
歯科口腔外科 歯科衛生士
鳥畑 さやかさん

・血液科のナースから

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの合併症をより少なくして、快適な闘病生活を送るためのさまざまな留意点、看護からの支援の受け方について聴きます。

大阪府立成人病センター
8階南病棟
金沢 陽子さん

・化学療法室のナースから 外来化学療法の実際と看護

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅で問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

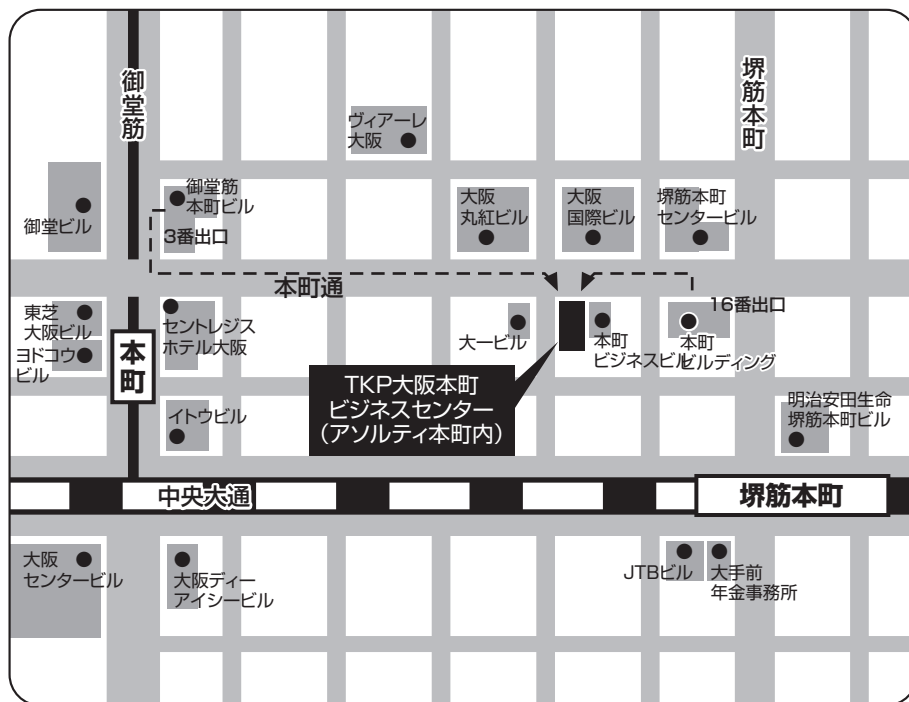
大阪府立成人病センター
化学療法外来 化学療法専門看護師
加藤 真己子さん

・共に考えるより良い治療とより良い治療 —講師全員による会場全体とのQ&A

各分科会からのまとめ発言について、ご参集の講師陣からご意見・アドバイスをいただき、参加者全体で共有します。

会場案内図 / TKP大阪本町ビジネスセンター

住所：〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 2-3-4 アソルティ本町 5F・6F・7F TEL 06-4797-6610



事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4以下の紙1枚に、下記の①～⑤を書いて送って下さい。(締め切りは11月12日必着)

FAX送付の場合 03-3203-2570

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533
早稲田大学前郵便局々留
NPO 法人血液情報広場・つばさ

①病名

②患者さんの性別と年齢

③ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。用紙は1枚のみ。

病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。

④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)

ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

⑤参加会場名(例、大阪フォーラム)

※寄せられた質問(ご相談)は、全体会・講演、疾患別分科会Q&A、などで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聞き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。案外たくさんの方が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。

※今回は骨髄増殖性腫瘍の分科会はありませんが、患者・家族の会のご協力とご参加があります。是非、関係疾患の方おいでください。

広報、分科会司会等のご協力団体 (いつも本当にありがとうございます)

・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット (JCRSU)	http://www.crsu.org/
・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会	http://www.flrf.gr.jp/
・ JCRSU・がん電話情報センター	http://www.crsu.org/jcrsu/sevices/cc.html
・ 慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族連絡会「いずみの会」	http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/
・ 日本骨髄腫患者の会	http://www.myeloma.gr.jp/
・ 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会	http://www.geocities.jp/mdsrenraku/
・ NPO 法人ライフボート	http://www.lifeboat-jp.net/
・ 院内患者会世話人連絡協議会 (HosPAC)	http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm
・ NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ	http://www.millefeuille.or.jp/
・ 骨髄増殖性腫瘍患者・家族会 MPN-JAPAN	http://www.mpdnetjapan.org/